

## スタディツアー'03について

8月に「南遊の会」の最大イベントであるスタディツアーが行われます。私たちは去年と同様、素晴らしい感動が生まれるように着々と準備をすすめています。しかし今年は問題となったSARS（新型肺炎）の影響によりツアー応募者が少ない状況です。「南遊の会」は参加者の安全を第一と考えながら募集を続けました。7月7日時点でWHOの「渡航延期勧告地域」が世界の全地域で解除されましたので、スタディツアーを実施することに決定しました。皆様のご理解とご協力をお願いし足ります。

### スタディツアーの予定日と研修会

8月16日～24日(9日間) 募集:30名  
 参加費用:170,000円(学生)、190,000円(一般)  
 研修会 7月19日(土)、8月9日(土)  
 場所:なごやボランティア・NPOセンター  
 詳細は申込みされた方に別途連絡します。

## お知らせ

### ○会員人数に着いて

なんと、南遊の会の会員数が120名を越えました！！  
 会員の皆様、ご協力ありがとうございます  
 「南遊の会」は現在も会員を広く募集しています。  
 今後も積極的なご参加をよろしくお願ひします。

### ○お願い ～マングローブパスポートについて～

毎年の植樹目標は5haですが、1haにつき1,000\$の費用は、現在の「南遊の会」にとってかなりの負担になっています。そこで、会内外の方々に募金活動と呼びかけ、ご協力頂いた方に「マングローブパスポート」をお渡ししています。金額は一口100円、何口でも結構です。そして「日越青少年交流の森」完成の暁には、ご協力頂いた方々のお名前を刻んだ記念碑を建てる計画です。

### 「南遊の会」 Information

「南遊の会」の参加するイベントやスタディツアーの情報などを詳しく知りたい！！

「南遊の会」のタイムリーな情報を随時お届けしています。「南遊の会」を知りたい方は、是非アクセスしてみてください。

「南遊の会」ホームページ  
<http://www.namdu.jp>

ベトナムの文化や現地に住む人々に興味がある・・・

週報「南遊新聞」をEメールをお持ちの方に提供しています。ベトナム駐在の石丸代表が現地の様子をお伝えするコラムや「南遊の会」の情報をお届けします。

moritats@k7.dion.ne.jp  
 (森田)までアドレスをご連絡ください。

「南遊の会」のメンバーに会ってみたい、質問したい。「南遊の会」に参加したい。

「南遊の会」とコンタクトを取りたい方、大歓迎☆事務局までご連絡ください。

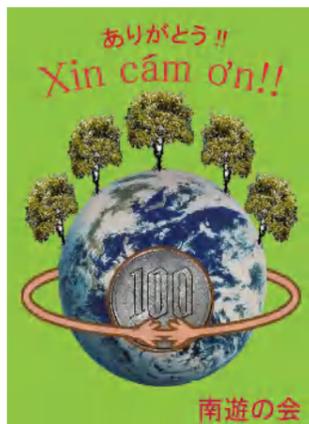
右の掲示板をご覧ください

2002年スタディツアーで植樹した胎生種子がこんなに育ちました



### 「南遊の会」会員数 (2003年5月現在)

正会員	27名
賛助会員	26名
支持会員	39名
会友	30名
合計	122名



### 掲示板

編集者 杉田朝子  
 協力者 加藤久美子  
 発行者 南遊の会  
 事務局 桜井靖彦  
 〒460-0008名古屋市中区栄1-23-13  
 なごやボランティア・NPOセンター気付  
 Eメール: info@namdu.jp  
 Tel,Fax: 0566-22-1751(桜井方)



## Xin Chao(こんにちは)!

「南遊の会」は去年のスタディツアーの盛り上がりを維持し、地域の国際フェスティバルや大学際への出展、文集「メッセージ」の発行など、ベトナムでの植林だけでなく国内でも活動を続けています。

さて、もうすぐ1年で最も大きなイベント「Study Tour '03」が行われます。もうすでに、数ヶ月前から様々な計画が練られています。待ち遠しいですね。さて、今年はどうな感動がうまれるのでしょうか!?

2003.5.25あいち国際プラザフェスティバルに出展



## 巻頭言にかえて

### ベトナムでのマングローブの植林

南遊の会 副代表 丹羽 武

今まで私は、マングローブについては、熱帯地方に独特の形の根を張ったジャングルの木という位にしか知識をもっていませんでした。最近になり、地球温暖化問題で環境保全という面からマングローブがクローズアップされています。日本でも南西端の八重山諸島・西表島や石垣島にもあり、その保存が叫ばれていたことから興味を持っていたわけです。そこで昨年のスタディツアーに参加しました。

でもなぜ「ベトナム」かという、あのベトナム戦争でアメリカ軍の枯葉剤によるマングローブの森林破壊が伝えられ、その森がどのようなになっているのか、この目で確かめたかったことと、ベトナム文化についても関心があったからです。

実際、現地に行ってみると、現在の森林が一見うっそうとしたジャングルになっていて見事に再生しているように感じましたが、これは本来の森林ではないようです。より昔の自然の姿に戻すようにカンザーはユネスコの「生物圏保存地区」に指定され、ホーチミン市あがでの豊かな森再生のプロジェクトが開始されました。

その土地で「日越青少年交流の森」造りに向けて日本とベトナムの人たちと協働の再植樹に参加し、大きく言えば世界の環境保全に役立つ森の再生をお手伝いできたことは、短い時間でしたが参加した人々との熱き交流も経験し、大きな感動が今に残っています。「日越青少年交流の森」がこうした一年一年の積み重ねで見事に完成することを夢見て、続けていきたいと思っています。



「こんなに大きく育ててほしい」  
 カンザーの森にて  
 南遊の会代表 石丸 龍

2003年5月25日に第二回「南遊の会」総会が開かれました。ここで、2002年度の活動実績と2003年度の事業計画をお伝えします。

**2002年度事業報告**

1. 現地事業活動（ホーチミン市駐在員）

- ①ホーチミン市農業・農村発展局・カンザー県人民委員会等との信頼関係の維持推進
- ②「日越青少年交流の森」造りの植樹苗の調査研究
- ③自然環境保全に対する理解を深めるための学術的方向性を探る

2. 植林事業（スタディーツアー）

目的：現地での体験学習から日越の交流を深め、青少年の育成を図る。

内容：日越学生及び森林組合と協働で「日越青少年交流の森」造りを行う。また、現地の研究者と意見交換し環境教育、意識の向上をはかる。

時期：2002年8月17日～8月25日

参加人数：学生・一般 23名 植樹の成果：3ha、8,000本

3. 事業拡大への活動

- ①会員の増員拡大
- ②定例会議活動の推進 1回/月
- ③他の協力団体への助成申請活動
- ④交流祭・学園祭への参加
- ⑤広報活動（週間南遊新聞、HP、広報ビデオ、会誌、感想文集）

**2003年度事業計画**

1. 植林活動（スタディーツアー）

目的：植樹体験を通して環境、生態系の学習と協働作業を通じて、異質を学び両国青少年へ相互理解を深める場を提供する。

内容：日越の学生、森林組合と協働で植林事業を行う。また現地の研究者と意見交換し環境教育、意識の向上を図る。

時期：2003年8月16日～24日（予定）

参加人員：①学生・一般 30～40名、ベトナム人学生30～40名

2. 事業推進活動

- ①会員の増員拡大
- ②マングローブパスポートなどの寄付金募集
- ③月に1回以上の定例会議の開催
- ④他の協力団体への助成申請活動
- ⑤交流祭・学園祭への参加
- ⑥広報活動（週間南遊新聞、HP、広報ビデオ、会誌、感想文集）

3. 現地活動（ホーチミン市駐在員）

- ①ホーチミン市農業・農村発展局・カンザー県人民委員会・ホンバン大学等との信頼関係の維持推進
- ②「日越青少年交流の森」育成状況調査・報告
- ③ツアー条件調査



新築されたカンザー森林組合  
(2003年2月)

2002年度会計収支報告

収入	
会費	632,800
寄付金	1,050,233
体験交流事業収入	3,408,800
その他	76,359
前期繰越金	284,607
支出	
体験交流事業関係費	3,931,488
経常活動費	647,184
<b>当期収支差額(次期繰越金)</b>	
	241,327



国内での参加イベント予定

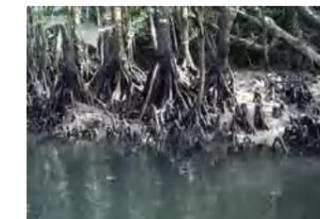
- ・10月  
YMCA国際フェスティバル  
(名古屋YMCA主催)
- ・11月  
MIA国際交流フェスタ  
(三好町国際交流協会主催)
- ・12月  
ぼらんぼパーク  
(名古屋NPOセンター)

おいしいベトナムコーヒーを飲みに来て下さいね☆

今回はマングローブの「根」について詳しく勉強しましょう。マングローブの根は大気中に根を出す呼吸根です。呼吸根とはどのようなものでしょうか。一般に、植物の根は水を得るために地中に広く深く伸びていきます。しかしマングローブの根には、地上の幹から根を出しているものや、土の中から根を大気中に出しているものがあります。また、マングローブが生育する泥湿地は極端に酸素不足な上、満潮の時には根の大部分が水に浸かってしまい根から空気を得ることができなくなります。そのため、さまざまな形の呼吸根を発達させて、酸素を吸収しているのです。



支柱根(しちゆうこん)



膝根(しっこん)



筍根(じゅんこん)



板根(ばんこん)

支柱根はたこの足のような形です。水を吸う働きがあるのはもちろん、不安定な泥地で自分のからだを支えるという役目もあります。それに加え、空气中に露出している根の表面では、葉と同じように光合成が行われています。

筍根は、小さな筍のような形です。地面と平行にのびる地下の根から上に伸び、呼吸をしています。マングローブを決定づける呼吸根です。

膝根は、膝が曲がったような形です。内陸部で、土中の酸素に乏しい湿地に見られます。

板根は、支柱根が変化したもので板のように根が広がっています。泥地において地上部のからだを支える働きがあります。

Xin GIOI THIOU(紹介します)



今回は人物紹介ではなく、私達が国際交流フェスティバルなどで提供している美味しいベトナムコーヒーを紹介します。ベトナムのコーヒー豆は、苦みが強く酸味が軽いのが特徴です。また、バターを入れて深く焙煎するので香ばしいロースト香を持っています。ベトナムはフランス文化の影響を受けているので、古くからコーヒーを飲む習慣がありました。しかし、冷蔵庫がなく生クリームを保存できなかったため、代品としてコンデンスミルクを使うようになったと言われています。

ベトナム式、美味しいコーヒーの入れ方

ベトナム式のドリッパーを使います。

- 1) カップにドリッパーをのせ、挽いたコーヒー(約15g)をドリッパーにいれます。コーヒーの粉を平らにならしたあと、ドリッパーの中ふたを乗せます。
- 2) 次にカップにコンデンスミルクを入れます。(ミルク抜きはカフェ・デンと言います)
- 3) 沸騰したお湯をごく少量注ぎ、上ふたを被せて30秒程度コーヒーを蒸らします。この時間にコーヒーの美味しさが引き出されます。
- 4) ドリッパーに8分目までお湯を注ぎます。ドリップにちょっと時間がかかります。カップの大きさを考慮しながらお湯を少し足して濃さを調節してください。
- 5) コーヒーが全て落ちたら出来あがり!(お湯を注いでから約6分)ここでグラスにクラッシュアイスをつぶりと入れておいて、コーヒーカップからコーヒーをうつして入れると、カフェ・ダーと呼んでいるアイスコーヒーになります。コーヒーがグラスを満たすまで、香りを楽しみながら待つ。そんなのんびりとした時間が、「ベトナム流」コーヒータイムの過ごし方なのです。

